

令和3年度 熊本県相談支援従事者 現任研修 (事前課題)

勤務先名			
現職名			
受講番号・グループ	班 ※事務局が記入します		
氏名			
提出課題チェックリスト <input checked="" type="checkbox"/>	書式		提出期限
	実践報告書(書式 1-①)		2021年10月18日(月)必着 <u>7部</u> 事務局へ郵送
	実践報告書エコマップ(書式 1-②)		
	地域変革のためのヒアリングシート(書式 2)		
	ストレングスアセスメントシート(書式 3)		

※ 障害者相談支援従事者研修テキスト 現任研修編(2020年7月中央法規出版発行)の記入要領(P9~18)を参照のうえ作成してください

※ は、演習時に記入するので空欄でかまいません

※ 表紙としてこの用紙を添付し、課題と一緒にホッチキスで左上をとめてご提出ください 提出期限:2021年10月18日(月)必着

事例検討やスーパービジョンを行うため、以下のような事例は避けてください。

- 他人の事例
- 本人からの事例提出の同意が得られない事例
- 自分に何の迷いも悩みもない事例
- 一時的、短期的な支援を行った事例
- 虐待や要対協の事例
- 急な病状悪化、自己破産など緊急介入を要する事例
- 触法、犯罪に関係する事例
- 自分とクライアントとの関係が極端に悪化している事例
- フォーマルサービスでしか対応できない事例
- 介護保険のみ利用の事例

実践報告書

イニシャル:	性別:	年齢:	障害名(程度)・区分:
福祉サービスの利用状況			
検討したいこと(相談支援専門員が支援の中で困っていること)			
主訴(相談に来た理由、どうしたいか)			
利用者の特徴			
生活歴(どのような生活を送ってきたか、楽しかったこと、興味を持ったこと、悲しかったことなどのエピソード)			
社会的状況(家族関係・友人関係・学校・職場・福祉サービス利用など)			

①誰が困っているのか(本人・家族・学校・職場等)※複数可

②いつ頃から困ったことが生じたのか

③主訴と主訴に関連するさまざまな情報から、あなたはどのように解釈したか(見立て)

④検討したいことに対して、あなたはどのように支援をしてきたか(支援経過)

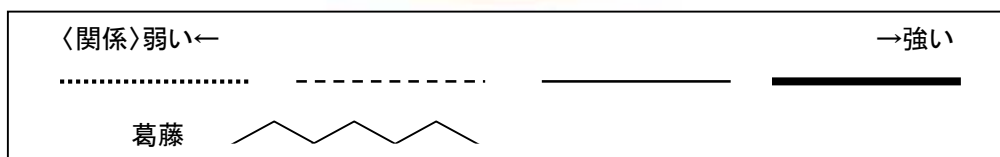
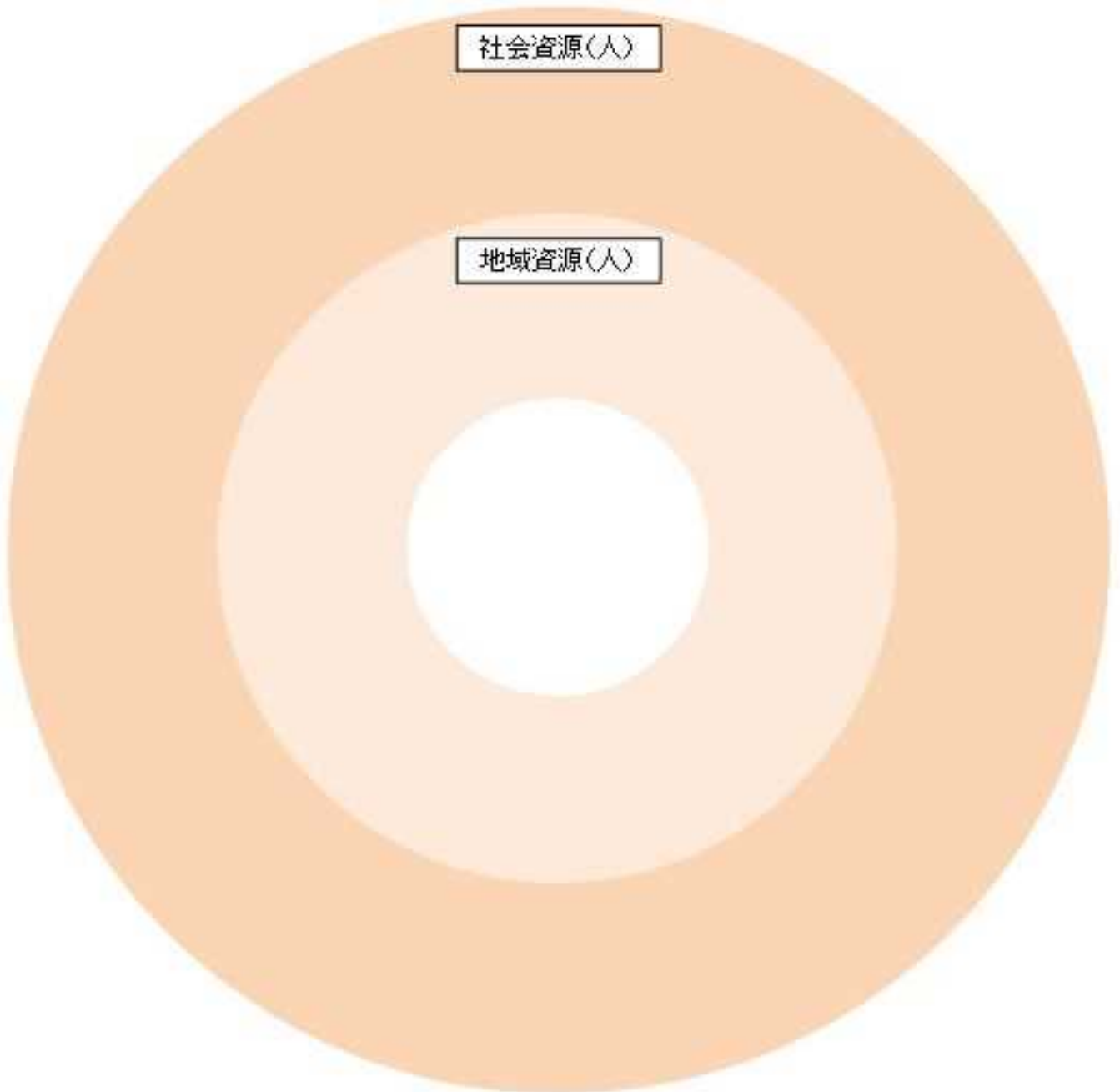
⑤その結果、改善されたか

(検討)意思決定支援の展開で気をつけること ※演習時に記入

(検討)検討課題に対して具体的な支援方法 ※演習時に記入

エコマップ

チームアプローチに おける支援方針	
チームアプローチ の展開で困ってい ること	



利用者と地域資源(人)の関係

利用者和社会資源(人)との関係

相談支援専門員と地域資源(人)及び社会資源(人)との関係

チームアプローチの展開で困っていることへの対応策 ※演習時に記入

地域変革のためのヒアリングシート(利用者からみた地域の状況)

【1】 利用者が参加・所属している地域組織または参加したがっている組織について

組織の名前は？	
どの程度の「参加」か？	
参加しやすい条件整備がなされているか？	
どういう条件を整えば、もっと参加しやすくなるか？	

<注> 自治会・趣味グループ・学校・ファンクラブ・生涯学習グループ・各種(連続)講座・ボランティアグループ

【2】 利用者の交友相手<友達>について

どのような関係の人か	
利用者の資源になりうるか	
どうしたら資源になるか	

<注> 井戸端会議の相手・同級生・趣味友達・講座友達・級友

【3】 利用者が所属している当事者組織について

どのような組織に属している	
利用者同士の問題解決のために十分機能しているか	
もっと機能するためには、どういう支援が必要か	
利用者はどのような役割を果たしたらいいか	
その組織は利用者にとってどのような意味があるか	

【4】 利用者に(福祉的に)かかわっている人や組織・企業(商店)・隣人について

どのようなかかわりをして くれているか	
もっと進んだかかわりをして もらうには、どのような条件が 整備されたいか	
こちらとしてどのような努力を したいか(どのような仕掛 けを施したいか)	

<注> 行きつけの商店の主が、店頭で親切にしてくれる程度でもいい

【5】 利用者が見込んでいる相手(相談に乗ってくれたり、困ったとき助けてくれる人)・行きつけの商店・診療所の医師・隣人について

その利用者が見込む相手は どういう条件があるか	
利用者が見込んでいる人が、 見込まれたことをきちんとして いるか	
していないとすれば、それは なぜか	
見込まれたことをその人が実 行するには、どういう働きか けが必要なのか	

<注> なぜその人を見込んでいるのか

【6】 利用者の親族で、利用者が頼りにしている相手について

その相手は、利用者の期待 に添うよう行動しているか	
していないとすれば、それは なぜか	
どうしたら期待に添うよう行 動するようになるか	
他の親族はなぜ頼りにならな いのか	
どうしたらもっと便りになる親 族になるのか	

【7】 利用者の(これから戻る)近隣は、利用者にとっていい近隣か

どのように頼りになるか	
どのように頼りにならないか	
どんな人材が存在しているか (世話焼き・口利きなど)	
もっと頼りになる近隣にするにはどうしたらいいか	

【8】 利用者の周囲で、活用できそうな福祉資源はあるか

どんな資源が分布しているか (いわゆるボランティアや民生委員、福祉推進員だけでなく、世話焼きさんや、保健福祉のプロ、各種公共機関なども)	
それぞれどんな資源性を持っているか	
それぞれ利用者にどんな資源になりうると思うか	
それらの資源を利用者に振り向けるにはどんな仕掛けが必要か	
それぞれがより強力な資源になるには、どんな仕掛けが必要か	

【9】 利用者にとって「隠れた資源」となっているもの(利用者を元気にさせているもの)について

あるとすればそれは何か	
-------------	--

<注>特に動植物や自然環境、日常生活の各種グッズ、遊び・スポーツなど、人間以外の資源に着目

【10】 利用者は地域に対して、どのような資源性を有しているか

資源性とそれが機能している対象を羅列	
利用者が頼りにしている相手に対して、どんな資源性を発揮しているか	

利用者が潜在的に有している資源性は何と何か	
それぞれ誰に対して資源となりうるか	
利用者の資源力を増強させるには、どんな支援が必要か	

<注>隣人の相談相手、同じハンディをもった人の相談相手、趣味グループなどで、ユニークな働きをしている、など

【11】 利用者にとっての資源同士のネットワークの状況はどうか

これまで挙げられた資源相互の連絡はどの程度なされているようであるか。お互い(資源同士)、その利用者にかかわっていることをどの程度承知しているようであるか	
もったきちんとネットワークができるためには、どんな支援が必要か	

【12】 利用者の自宅(居住場所)は、どのような資源となるか

資源を発掘・活用するのにどのように適しているか、または適していないか	
より多くの資源を発掘・活用するために、どんな環境整備が必要か。(利用者のセルフケアマネジメント能力の開発。自宅の改造。支援者の確保。資金援助など)	

【13】 利用者のセルフケアマネジメント能力(自分の状態を正確に把握・ハンディの中身も客観的に把握・その克服策の工夫・必要な資源を発掘・活用する資質等)の評価をしてみよう

セルフケアマネジメント能力の評価	
------------------	--

<注>人に好かれる(人が寄って来る)・自分も人が好き・人の好き嫌いが無い・困ったら困ったと言える・誰に対しても気軽に助けを求めることができる・助け手を上手に探し出す・お礼の言い方・仕方も上手・人間関係に長けている・自分もお返しができる・自分の(他人に)できることを上手に生かす・自分の意思をきちんと伝えられる・コミュニケーション手段を持っているし使える・どこへでも気軽に出かける・人を呼び込む場(空間)を確保している・セルフケアマネジメントのための支援者(秘書?)を確保している、など

出典:日本社会福祉士会研修資料を一部改変

ストレングスアセスメント票

書き出し【●】本人の言葉

【○】家族等の言葉

【・】事実や行動(社会資源等)

本人の名前(通称):

A 現在のストレングス 私の今のストレングス 個人:環境	B (未来の)希望:願望:熱望 何がしたいか:何がほしいか	C 過去の資源 どのようなストレングスを 使ってきたか
------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------

家・生活環境(住居、日常生活、移動手段、行動範囲など)		

経済状況		

日中活動(就労、教育、専門知識、通所、通学含む)		

社会的支援(家族、友人との関係、所属、サポートネットワーク、支援的人間関係)		

健康状態(快適な状態、受診など医療を含む)

--	--	--

余暇活動(趣味、レクリエーション)

--	--	--

Spirituality 文化 / 生きがい(大事にしていること、人生観、家族観、価値観)

--	--	--

わたしの希望・願望の優先順位は

1)
2)
3)
4)

追加コメント・わたしを理解するために大切な事